

## 国際農業工学 レポート課題

### ・農業農村整備事業における建設コンサルタントの役割について

建設コンサルタントの一般的な役割としては主に社会資本の整備事業を通して調査、計画、設計を行うということが挙げられます。特に農業農村整備事業に関わる役割としては水路やダムなどの水利施設や水田田畑の区画整理などの調査、計画、設計を担当するというのが主な役割と考えられます。

建設コンサルタントの大村さんの話をお聞きして初めに頭に浮かんだのが教養学部の4学期に受講した「環境と景観の生物学」の授業内容でした。建設コンサルタントが農村整備事業の計画や設計を行うということは建設コンサルタントが農村の景観形成に対してかなり大きな影響力を持っていると考えたためです。例えば講義でも紹介されていたような大規模な水田の区画整理を行うとすれば、単純に水田を主体としたその地域の風景は変化することになります。また、区画整理に伴い用排水路もただの土手から効率の高いコンクリート製のものに変更することになればそれまでその土手にいた生態系に変化をもたらすことになります。さらには水路に入れなくなることで地域に住む子供達が水遊びできなくなるなど農村の人々の行動様式も変化させる可能性も考えられます。このように建設コンサルタントはこれら全ての変化を決定する力があると考えられます。そのため農業農村整備事業において建設コンサルタントは自身の持つ大きな影響力を考慮した上で変化を受容する農民とコミュニケーションを深めつつしっかりと地域との合意形成を行ってその影響力を最大限に活用することが最も重要な役割であると思います。

### ・キーワードと理由

前回の講義中に最も印象に残ったキーワードは大村さんが繰り返し仰っていた「ストマネ」、ストックマネジメントという言葉です。なぜならばストックマネジメントという考え方がこれからの人間と環境の付き合い方を象徴していると考えたためです。ストックマネジメントは、新たな需要が生まれた際に新たな設備を作るのではなく既にある設備を修理、改良することで対応する、という江戸時代の人々の循環的な暮らしのような持続性の高い生活様式であると思います。また、インフラ整備という大規模な単位での環境負荷の軽減を実現することで、個人や家庭レベルの節電や節水などの取り組みに比べはるかに大きな影響力をもち、効率的に環境対策を進めることができると考えられます。

今回の講義まで、ストマネという言葉どころか建設コンサルタントという存在についても知らなかったのが講義を通して今までの自分が知らなかった方法で環境への負荷を減らす取り組みができることを知り、今後もこのような発見をたくさんできるように知識を広げていきたいと思いました。